TOTO

小型電気温水器（元止め式）

湯ぽっとREAシリーズ

REA03 壁掛型

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、つぎのようになっています。

表　示	意　　味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容を示しています。

下記に示す内容は、施工説明書や商品に表示して、工事業者の方に安全に正しく商品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
⃠	一般的な禁止	❗	必ず実行	⏚	アースを接続せよ

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付き）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告

分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない（感電や故障などの原因になります。）
禁　止	屋内用のため、屋外には設置しない（感電や故障の原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない（火災の原因になります。）
	指定する電源以外は使用しない（ヒーターの断線、火災などの原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない（感電・火災の原因になります。）
	水・油・洗剤などがかからない位置に電源プラグ用のコンセントを設ける（感電の原因になります。）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない（感電や故障の原因になります。）
アース接続	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける （誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）

⚠ 注意

禁　止	水道水以外は通水しない（井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。）
	タンク内に水がないときは、電源スイッチを入れない（空焚きとなり、故障や事故の原因になります。）
	商品に強い力や衝撃を与えない（故障や水漏れの原因になります。）
	専用湯水混合栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しない（機器の破損や水漏れの原因になります。）
必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる（フィルターを通ったごみが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする（空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。）
	当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防のため保温処置（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う（凍結破損し水漏れするおそれがあります。）
	専用水栓を必ず使用する（水漏れの原因になります。）
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける（凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。）
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターキャップをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う（水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）
	設置する際は必ず天面を上にして水平に取り付ける（天面を上にしない場合高温の湯が出湯されやけどのおそれがあります。）

お ね が い

給水圧力は0.07～0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。（0.07MPa未満で使用すると流量が少なくなります。）

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
（鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。）

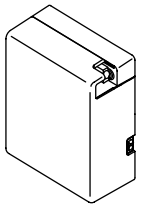
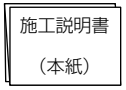
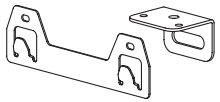
必ずフィルター付き止水栓（必要別売品）を取り付けてください。

取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお取付日を必ず記入してください。

空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

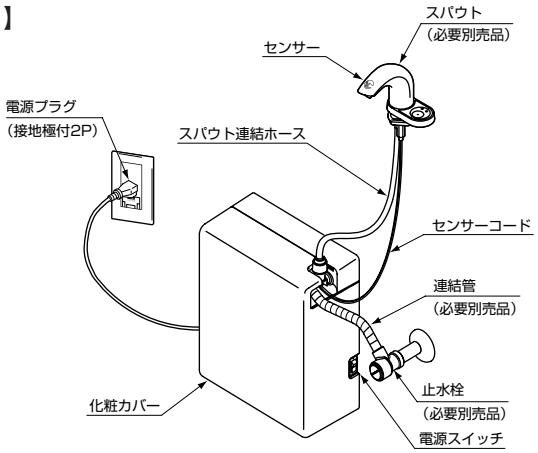
2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ、取扱説明書（保証書付）、施工説明書、自動吐水ラベル	③取付金具類
	 L＝300mm お客様にお渡しください 自動吐水ラベル	木ねじ（φ5.1×32） ×3 タッピンねじ（φ4×8） ×1 取付金具 底部固定金具 

3 各部の名称

【REA03HH/KH】

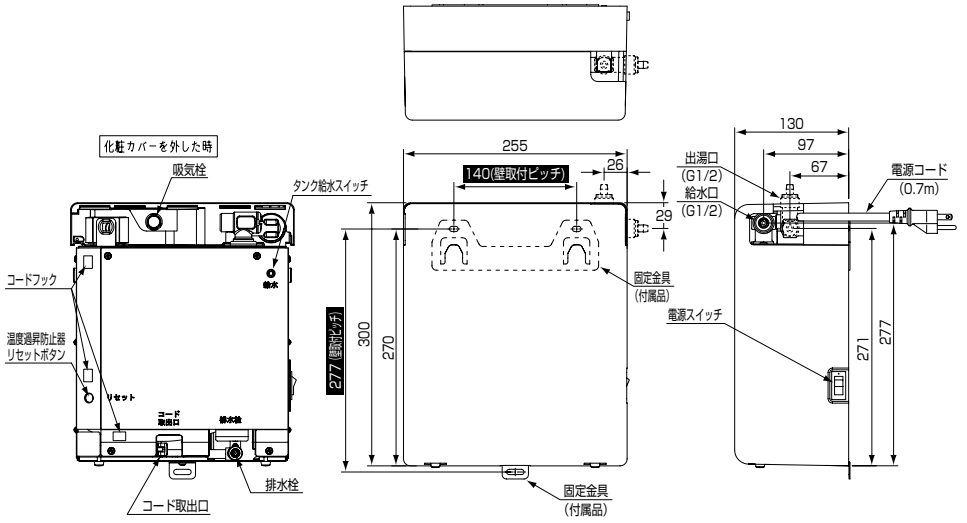


4 仕 様

機種品番		REA03HH	REA03KH
貯湯量		約3L	
定格	電圧	単相100V	
	周波数	50／60Hz	
	消費電力	0.6kW	
		（スパウト部：常時0.4W／作動時0.6W）	
給水方式		元止め式	
出湯温度		約36℃（給水温度が5℃～30℃のとき：30℃～40℃、混合バルブ内蔵）	
主要部品	ヒーター	シーズヒーター	
	温度調節器	バイメタル式	
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル	
	アース	電源プラグアース付き	
商品寸法		幅255㎜×奥行130㎜×高さ300㎜	
商品質量（満水時質量）		約6kg（約9kg）	
電源プラグ		差込型　接地極付き2P	
電源コード		約0.7m	
感知距離		学習方式による感知距離変化型（セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します）	
吐水流量		Aタイプ・Bタイプ：3.5L/min 定流量弁内蔵 グースネックタイプ・コンテンポラリタイプ：4L/min スパウト付属の定流量弁に交換 ハイバック洗面器（ハイパー泡まつタイプ）：2L/min スパウト付属の定流量弁に交換 ハイバック洗面器：3.5L/min 定流量弁内蔵	
使用条件	使用環境温度	1℃～40℃	
	使用水	水道水	
	使用水圧	0.07～0.75MPa	

5 寸 法 図

【REA03HH/KH】

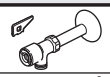
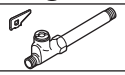
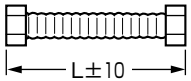
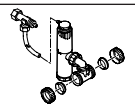
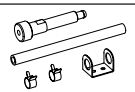


6 別売品一覧 ※★は必要別売品です。

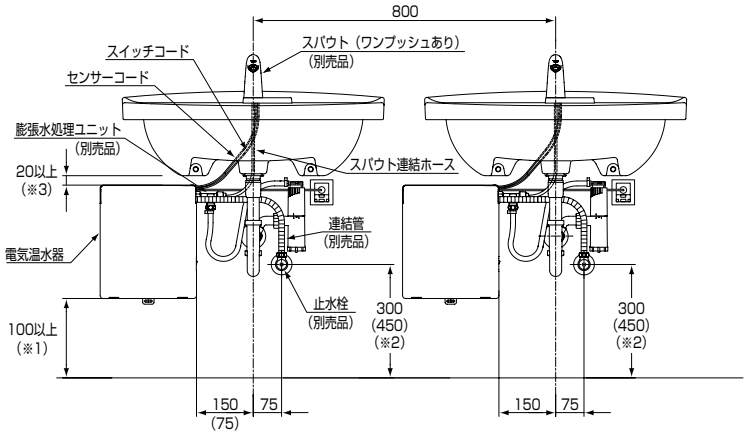
品　名	形　状	品　番	ワンプッシュ式排水金具対応	備　考
★スパウト（Aタイプ）		TEN61ACX（ワンプッシュあり、湯水切り替えスイッチ付き）	可	専用自動水栓
		TEN40ACX（ワンプッシュなし）	—	
		TEN41ACX（ワンプッシュあり）	可	
★スパウト（Bタイプ）		TEN40BCX（ワンプッシュなし）	—	専用自動水栓
		TEN41BCX（ワンプッシュあり）	可	
★スパウト（グースネックタイプ）		TEL84GCRX（ワンプッシュなし、湯水切り替え・手動スイッチ付き）	—	専用自動水栓（電気温水器の定流量弁交換必要）
		TEL85GCRX（ワンプッシュあり、湯水切り替え・手動スイッチ付き）	—	
★スパウト（コンテンポラリタイプ）		TEN12ACRX（ポップアップなし）	—	専用自動水栓（電気温水器の定流量弁交換必要）
★スパウト（ハイパック洗面器用）		TEL120ACSX（ポップアップなし）	—	専用自動水栓
		TEL120ABCX（ポップアップなし、ハイパー泡まつ）	—	専用自動水栓（電気温水器の定流量弁交換必要）

※ワンプッシュ式排水金具対応品は、別途ワンプッシュ式排水金具が必要となります。
※既存のポップアップ式排水金具にアクアオートの取り替えを行う場合、タイプにより対応方法が異なります。

タイプ	対応方法
Aタイプ	**既存のポップアップ式排水金具をご使用いただけます。**（P7「スパウトの仮り締め」参照）
Bタイプ	**既存のポップアップ式排水金具は、そのままご使用いただけません。**取り替え用ワンプッシュ式専用金具（品番:T7W27型）をご利用ください。

品　名	形　状	品　番	備　考
★アングル形止水栓		TL347C	給水用フィルター付き（壁給水用）
★ストレート形止水栓		TL348C	給水用フィルター付き（床給水用）
★連結管		RHE436-20	L=200mm
		RHE436-30	L=300mm
		RHE436-40	L=400mm
		RHE436-50	L=500mm
		RHE436-60	L=600mm
膨張水処理ユニット		RHE655H	
左配管取り出し用継手固定金具		RHE656	膨張水処理継手を左配管取り出しで付ける場合に必要
ウィークリータイマー		RHE657	外付けのウィークリータイマー
		RHE658	凍結防止機能の付いたタイマー

7 施　工　例

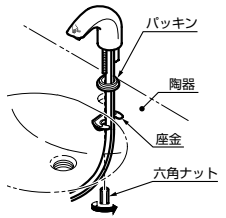


（※1）車椅子対応時は250mm以上を確保してください。また、必ず本体の水平を保つようにしてください。
（※2）排水管や膨張水処理ユニットのホッパーに干渉しない位置に設置してください。
（※3）本体天面と障害物との距離は20mm以上確保してください。（電気温水器本体を取付金具へ設置する際のスライド代となります。）
※（　）内寸法は、膨張水処理ユニットなしの場合の寸法です。
※別売品（ウィークリータイマー、膨張水処理ユニット）を取り付ける際は別売品の施工説明書をご覧ください。
※点検時に電気温水器の化粧カバーを外せるように、電気温水器手前には、150mm以上のスペースを設けるか、または点検口を設けてください。

8 取付手順

1．ねじ穴位置のけがき

電気温水器本体の固定位置を決め、壁に取付金具のねじ穴位置をけがく。（寸法図で壁取付ピッチを確認してください）



2．スパウトの仮り締め

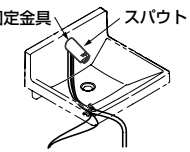
注意　施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

①スパウトを陶器取付穴に差し込む。
②吐水口を排水口方向に向け、座金を六角ナットで仮り締めする。

ハイパック洗面器用スパウトを取り付ける場合

スパウトの施工説明書をご覧ください。

①固定金具の取り付け
②スパウトの取り付け



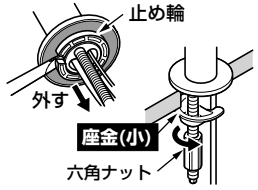
8 取付手順（つづき）

2．スパウトの仮り締め（つづき）

TEN12型を陶器取付穴φ25～φ29に取り付ける場合

①スパウト裏側の止め輪を取り外す。
②同梱の座金(小)に取り替える。

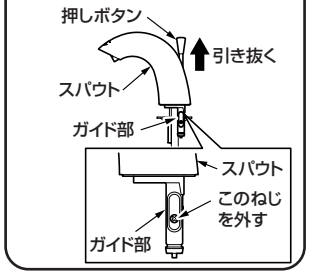
陶器取付穴	止め輪	座金
φ25～φ29	無	座金(小)
φ35	有	座金(大)



注 意 スパウト連結ホースとコード類をかみ込ませない

Aタイプをポップアップ式排水金具に接続する場合

スパウトガイド部のねじを外し、押しボタンを引き抜いてください。

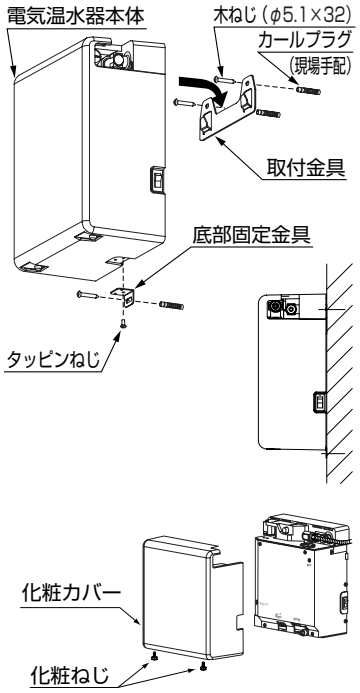


3．電気温水器の設置

注 意 電気温水器本体を床に直置きすると、化粧カバーに傷が付くおそれがあります。梱包の緩衝材を床に敷くなどして作業を行ってください。

（1）タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合

①ねじ穴位置に下穴を開けカールプラグ（現場手配）を打ち込む。
※カールプラグは木ねじ（φ5.1×32）にあうものを手配してください。
②取付金具を固定位置に合わせて木ねじ2本でしっかり固定する。
［別売品のウィークリータイマー（RHE657、658）および膨張水処理ユニットを左配管取り出し金具（RHE656）で取り付ける場合、ここで固定金具を本体に取り付けてください。詳しくは別売品の施工説明書をご覧ください。］
③電気温水器本体に底部固定金具をタッピンねじ1本で固定する。
④取付金具へ電気温水器本体を引っ掛け、底部固定金具を木ねじ1本でしっかり固定する。
⑤ホース・連結管・コードの接続準備のため、化粧ねじを2ヶ所取り外し、化粧カバーを取り外す。
※本体が水平になるように取り付けてください。
※電源コードのかみ込み、エッジ部への当込みなどに注意してください。



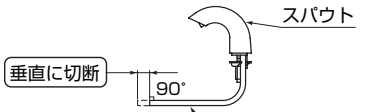
（2）木製の壁材に取り付ける場合

商品満水時の質量に耐えうる構造であることを確認し、取付金具を木ねじ2本で固定し底部固定金具を木ねじ1本で固定する。また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施す。

4．スパウト連結ホースの切断

スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適切な長さに切断する。

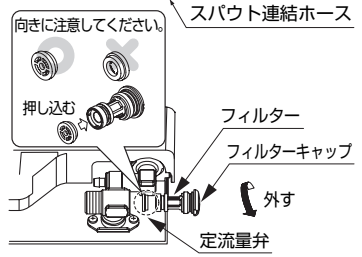
注 意
- カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



5．定流量弁の交換

スパウトがグースネックタイプ、コンテンポラリタイプの場合とハイパー泡まつを使用する場合は、定流量弁を交換してください。

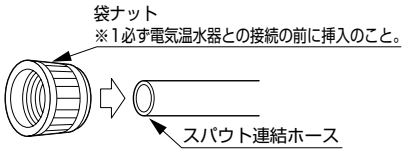
①フィルターキャップ・フィルターを外す。
②フィルター先端についている定流量弁を取り外し、スパウトに同梱されている定流量弁を取り付ける。
③フィルターキャップを取り付ける。



6．スパウト連結ホースの接続

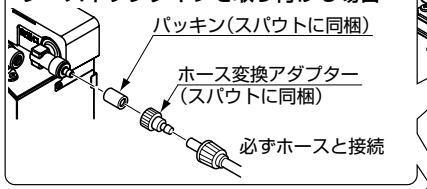
①スパウト連結ホースに袋ナット[※1]を通す。
②ホースを出湯口に差し込む。
③袋ナットを **手で締め付ける。**

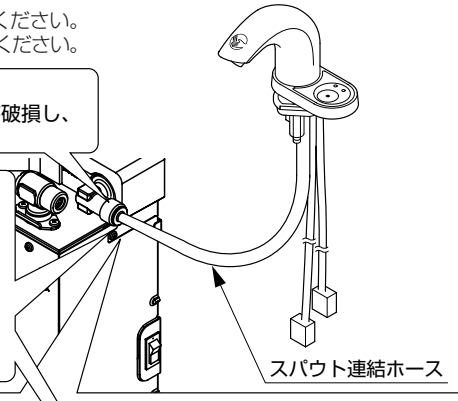
※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。



注 意 手で締め付ける
（工具で締め付けると袋ナットが破損し、水漏れするおそれがあります。）

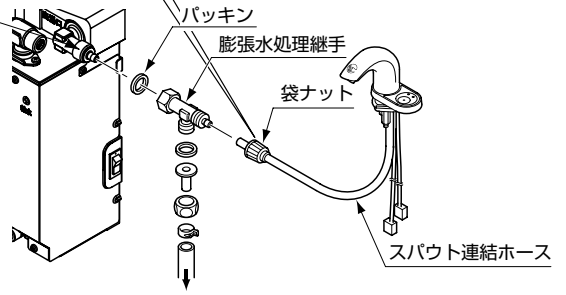
グースネックタイプを取り付ける場合





別売品の膨張水処理ユニットを取り付ける場合

膨張水処理継手を取り付けてから、スパウト連結ホースを取り付けてください。
※詳しくは膨張水処理ユニットの施工説明書をご覧ください。また、左配管取り出しの場合は別途固定金具（RHE656）が必要です。詳しくは固定金具の施工説明書を合わせてご覧ください。



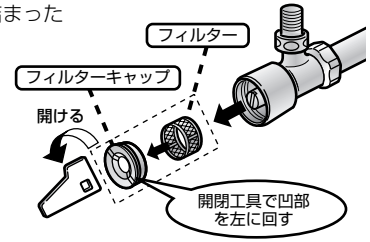
裏面に続く

8 取付手順（つづき）

7．給水管の接続

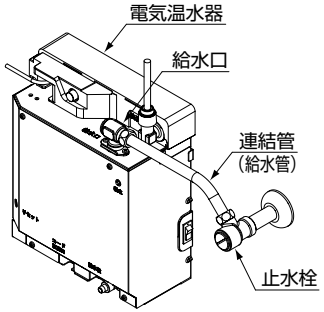
給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる
（フィルターを通ったごみが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）

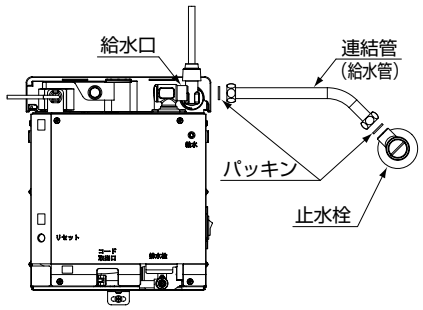
給水口に接続する前に止水栓フィルターの網目に詰まったゴミなどを取り除く。



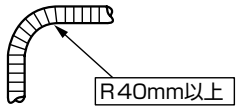
止水栓と給水口を連結管で接続する。

注 意 電気温水器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用する
（鋼管などで接続されるとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。）
必ずパッキン（図示）を入れる



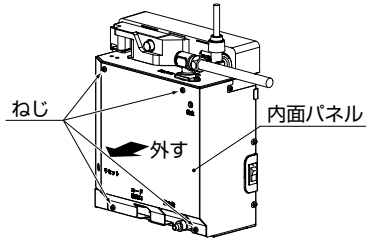


注 意 連結管は、極端に折らない
（R40mm以上は確保してください。）



8．センサーコードの接続

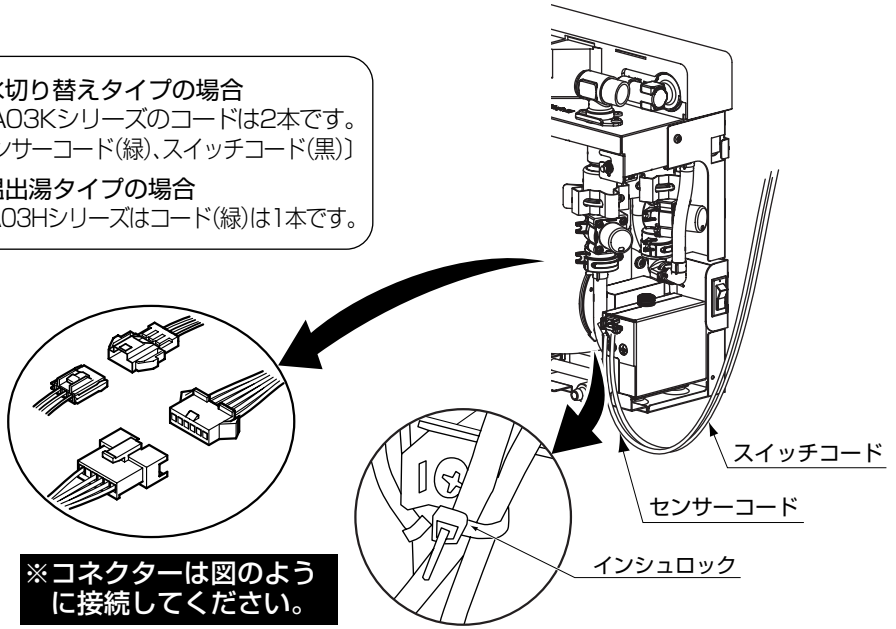
①ねじを4ヶ所取り外し、内面パネルを取り外す。



②コントローラからでているコネクターとスパウトからのコードを接続する。またインシュロックでコードをしっかり固定する。
※2本の場合は2本とも固定してください。
※コードの太い部分で固定してください。

湯水切り替えタイプの場合
REA03Kシリーズのコードは2本です。
〔センサーコード(緑)、スイッチコード(黒)〕

適温出湯タイプの場合
REA03Hシリーズはコード(緑)は1本です。



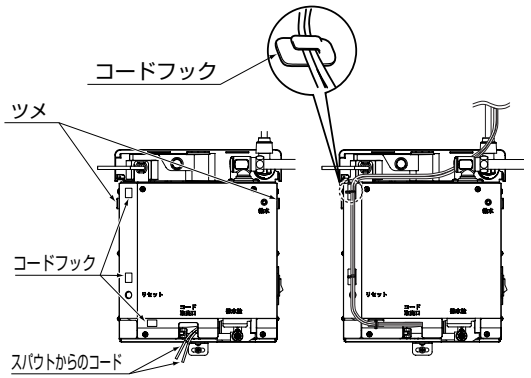
※コネクターは図のように接続してください。

〔別売品のウィークリータイマー（RHE657、658）を取り付ける場合、ここで取り付けを行ってください。
詳しくはウィークリータイマーの施工説明書をご覧ください。〕

注 意 コネクターはカチッと音がするまで確実に差し込む

③スパウトからのコードを内面パネルのコード取出口から引き出すようにして内面パネルを4ヶ所のねじで取り付ける。
※内面パネルが本体側面のツメの内側に入るように取り付けてください。

④コード取出口から引き出されたコードは内面パネルに取り付けられたコードフックを通して配管面上まで引き上げ、固定する。
機台外のコードに余裕がある場合は、結束して機台内配管面上へ収めるかまたは市販のコードフックなどで壁などに固定する。
※使用時や掃除などの邪魔にならないよう配慮してください。



9 電気工事について

- 使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う（火災の原因になります。）
- 電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
  また、漏電遮断器を取り付ける
  （誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）

電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
※接地付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保してください。

対応コンセント	電　圧	消費電力
パナソニック電工：WK3001W（露出型） WF3002EK（埋込み型）	単相100V	0.6kW

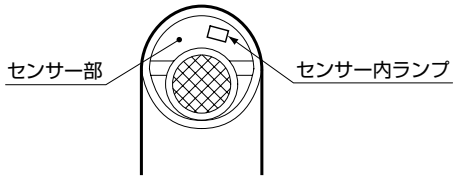
1．電源プラグをコンセントに差し込む

タンク内に水がないときは、電源スイッチを入れない
（空焚きとなり故障、事故の原因となります。）

注意 電源が入ると直ちにスパウトセンサーの感知距離を自動設定するため、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない
（約20秒間でこの動作は完了します。）

2．センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウト先端のセンサー内ランプが 点滅していない ことを確認する。
※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。



●確認が終わったら電源プラグを抜いてください。

注意 陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがありますが、その場合はそのまま設定してください。（ランプの点滅は10分後に消えます。）

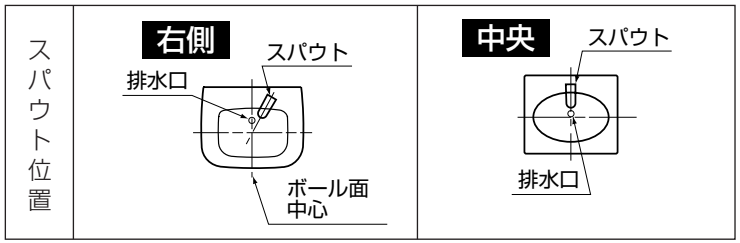
※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動消滅するまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクター（緑）を一度抜き、差し込み直してください。

3．スパウトの固定

六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

注意
- スパウトを固定する際は、必ず陶器のボウル面中心に向ける
- クリーンドライ（温風乾燥器）などとのセットではクリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないように、それぞれを離してセットする

※インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。



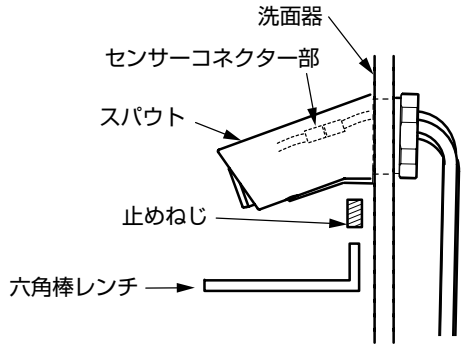
※六角ナットの締付用として、別売で専用工具（TZ40L）を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。
・ソケットレンチ（対辺13㎜）
・T型レンチ（対辺13㎜）
・ナットスピンナーハンドル（対辺13㎜）

TZ40L

〈ハイバック洗面器用スパウトの場合〉

スパウトを洗面器面に密着させ、付属の六角棒レンチを使用して止めねじで固定する。

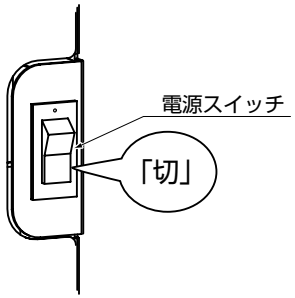
注意 スパウトが洗面器に密着しない場合は、センサーコネクターをスパウトの上側奥まで入れてください。



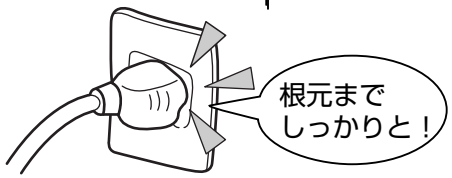
10 試 運 転

タンク内に水がないときは、電源スイッチを入れない
（空焚きとなり故障、事故の原因になります。）

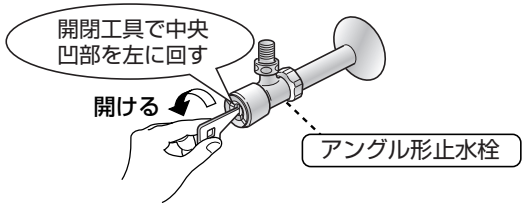
①電源スイッチが「切」になっていることを確認する。



②電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む。



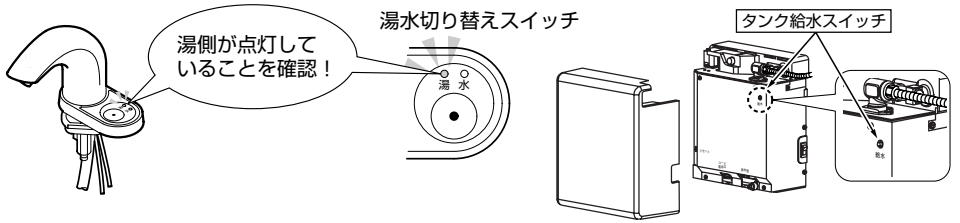
③止水栓に付属の開閉工具で止水栓を開ける。



注 意
- 給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。
（水から臭いがするおそれがあります。）
- 止水栓が開いた状態で電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込むと5秒間吐水する場合がありますが、異常ではありません。

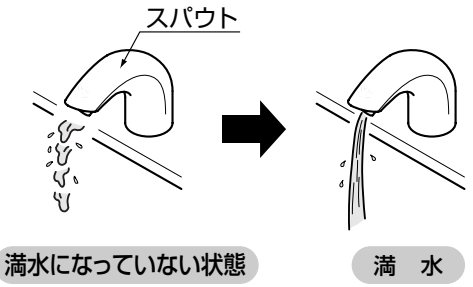
④タンク給水スイッチを押してタンクを満水にする。

注 意
スパウトに湯水切り替えスイッチがある場合は、”湯 ”側のランプが点灯していることを確認のうえ、タンク給水スイッチを押す
（”水 ”側が点灯している状態ではタンク給水スイッチを押しても、タンクへの給水を行いませんので、スパウトの湯水切り替えスイッチを押して、ランプの点灯を”湯 ”側にしてください。）



空焚き禁止（タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしない）

タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。
満水状態になると吐水状態は安定します。
（満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。）



満水になるまでには、約2分程かかります。

注 意
- タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。（途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。）約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。
- 吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

⑤スパウトの動作確認をする。

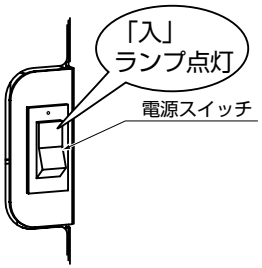
＜センサーを使った場合＞
・吐水口に手を近づけると水が出ます。
・手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
・センサー前面から感知する位置に手をかざしたままにすると、その間（約1分間）連続して水がでます。
（センサー感知は学習方式のため、手を動かさないままでいると約15秒で水が止まります。）

10 試　運　転（つづき）

<手動スイッチ付きを使った場合>
・スイッチを押すと水が出ます。
・もう一度押すと止まります。
・約１分間連続して水が出ると自動的に止まります。
※電源投入後、最初の3回は手動スイッチを押すと約5分間水が出ます。
もう一度スイッチを押すと水が止まります。
※膨張水処理ユニット取り付けの場合、吐水時に膨張水処理ユニットより排水されることがありますが、故障ではありません。

⑥配管接続部に水漏れがないか確認する。

⑦電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。



※沸き上がると自動温度調節器が作動し、電源スイッチのランプが消灯します。
⑧化粧カバーを取り付ける。

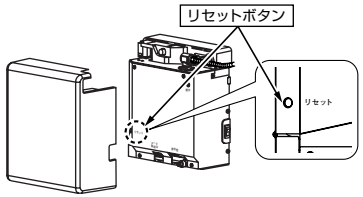
注意　化粧カバーを取り付ける際は、コードがかみ込まないように注意してください。

<沸き上がり時間の目安>

給　水　温	5℃（冬）	15℃（春・秋）	25℃（夏）
沸き上がり時間の目安	約23分	約20分	約17分

空焚きリセット方法

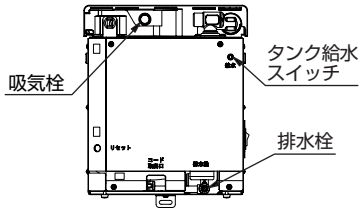
※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内のリセットボタンを押して安全装置を解除してください。
（1）電源スイッチを「切」にする。
（2）タンクに水を入れる。
（3）電源プラグを抜く。
（4）化粧カバーを取り外し、右図のリセットボタンをペン先などで押す。



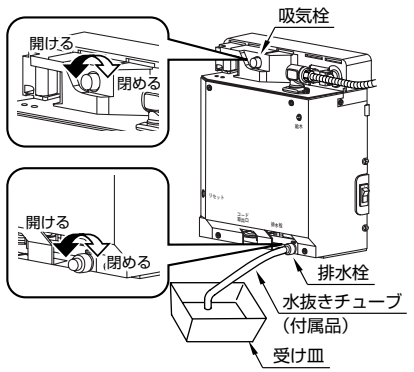
11 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

①電源スイッチを「切」にする。
②化粧カバーを外す。
③タンク給水スイッチを押してスパウトより湯を出し、タンク内の湯が水になるまで完全に出し切る。
※途中で湯の温度を確認し、スパウトから水が出るまで湯を出してください。



※水が出る前に湯が止まったら再度タンク給水スイッチを押し湯を出し切ってください。
※水になったら再度タンク給水スイッチを押し、吐水を止めてください。
④止水栓に付属の開閉工具にて止水栓を閉める。
⑤下部にある排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左に回し、電気温水器上部にある吸気栓を左に回して取り外す。



吸気栓に触れるときは、タンク内の湯が水になっていることを確かめてから行う。
（やけどをするおそれがあります。）

※排水が止まると水抜きは完了します。
（タンクが満水のとき、水抜きは約2分かかります。）
※水抜きする際は、必ず受け皿などで受けてください。
（排水量は約3Lです。）

12 水抜き後の処理

①排水栓を閉める。
②吸気栓を取り付ける。
※排水栓、吸気栓が閉められていないと、スパウトからの吐水時に水が飛び出します。
③化粧カバーを取り付ける。
④電源プラグを抜く。

注意　当商品は、寒冷地対応品ではありません。
凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防のため保温処置を（保温材巻、電気ヒーターなど）を行ってください。
（凍結破損し水漏れするおそれがあります。）